

講座「東京湾の科学」④第三管区海上保安本部と三菱みなとみらい技術館 (7/21)

◎ この講座は、笹川平和財団海洋政策研究所の「海洋教育パイオニアスクールプログラム」により、ご支援を頂いております。



7月21日(日)は、東京湾を守って頂いている海上保安庁の第三管区海上保安本部(横浜)に行ってまいりました。東京湾の守りと書きましたが、第三管区とは左の図(第三管区海上保安本部HPより)にあるような海域が担当で、東京湾ばかりでなく、広い範囲を担当して頂いております。中国漁船による小笠原諸島のサンゴ密漁問題に対処して頂いたものこちらの方々なのです。この本部からクルマで15分ほどの距離に、三菱重工の横浜本社があり、その1,2階が技術館になっており、学校単位の見学は無料ですので、お邪魔してきました。

<第三管区海上保安本部>

前述しましたように、第三管区海上保安本部は、横浜にあります。赤レンガ倉庫(赤レンガパーク)の隣です。到着後に、まずは、いくつかのガイダンスを頂きました。また、実はここには本校の卒業生が勤務しておりますので、後輩に一言をもらいました。

その後、海上保安庁の色々なお仕事の紹介がありました。例えば、日本の周りの海の深さをどのように測定しているかなどのお話があり、そのようにして作った海底の立体地図を見せて頂きました。また、海上保安庁の職員になるにはどのような試験を受けるかなどのお話もありました。



まずは、いくつかのガイダンス



本校の卒業生から後輩に一言



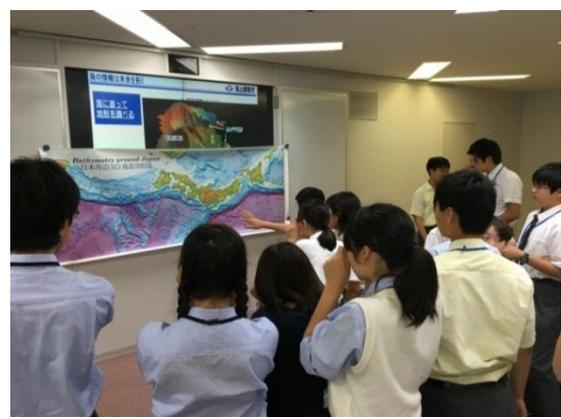
海上保安庁の職員になるには



海の深さをどのように測定しているか



海底の立体地図



特別なメガネで見ます

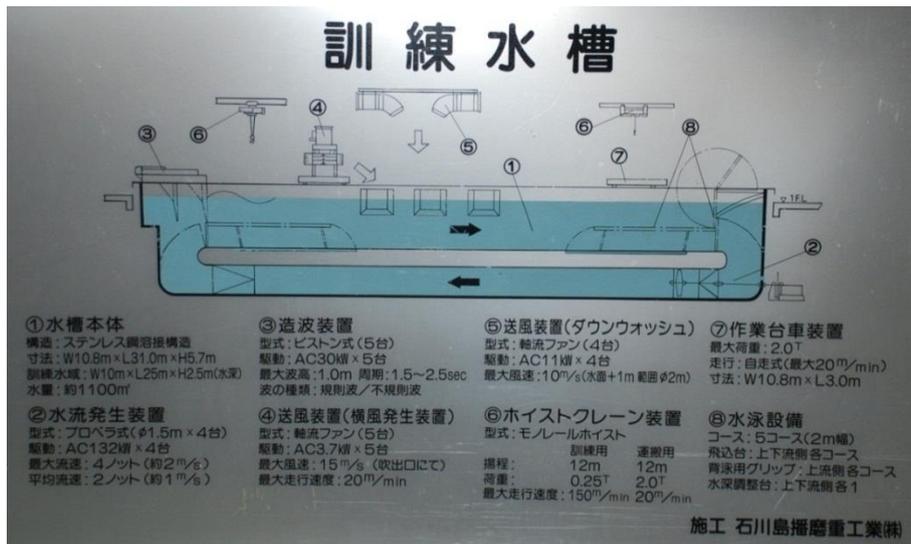
次に、施設見学となりました。注目すべきは、いくつかのプールです。一番大きなプールは、波や暴風が起こせるプールです。暴風で荒れ狂う海で要救助者を助ける訓練を行う場所で、ヘリコプターの下向きの風を再現する装置もありました。



波や暴風が起こせるプール



ヘリコプターの下向きの風を再現する装置も



もっとも大きな訓練プール

その他にもプールがありましたが、たまたま訓練中のところもありました。10m以上の深さのプールに上から見ましたが、訓練中のボンベの泡がいくつも見られました。次に三階分の階段を下りて、その訓練の様子も見学させていただきました。

また、大型の船の船倉で救助をする訓練のためのスペースもあり、ボルダリング（ロッククライミング）や何階分もの階段もありました。

廊下では、たまたま、これから訓練に向かう準備をなされていた「海猿」の方々もおられ、自然と頭が下がってしまいました。



10m以上の深さのプール



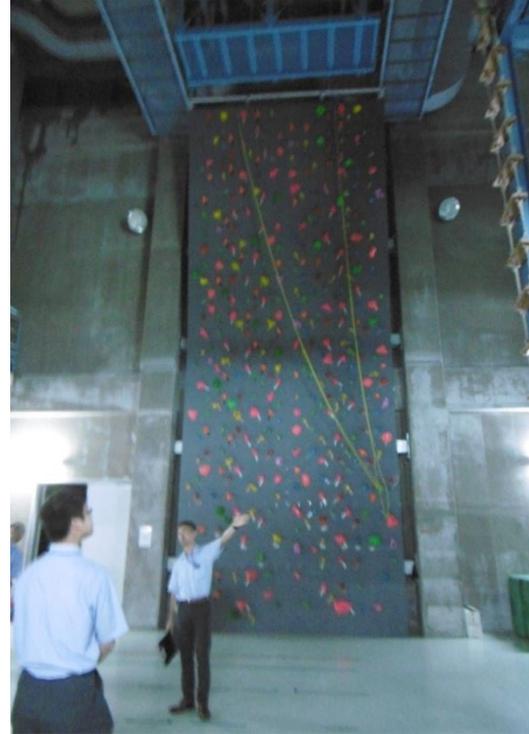
三階分の階段を下りて、訓練の様子を見学



水深10mでの訓練の様子



これから訓練に向かう準備をなされていた「海猿」の方々



大型の船の船倉で救助をする訓練のためのスペース

次に、隣の棟である「工作船資料館（海上保安資料館横浜館）」を見学しました。事前学習で概要は説明しましたが、サイエンスクラス生には初耳だったようでした。工作船事件とは、2001年（平成13年）12月22日に東シナ海で発生した国籍不明船の追跡事件です。国籍不明船は海上保安庁の巡視船と交戦の末、自爆し沈没しました。その船を引き揚げ（この結果、この国籍不明船は北朝鮮のものと判明しました）、展示してあるのがこの資料館です。横田めぐみさんをはじめ、多くの日本人が北朝鮮によって誘拐され、いまだに捕らわれの身となっていますが、あの国が日本人誘拐に利用したのが、このような船だと考えられています。



工作船資料館（海上保安資料館横浜館）と引き上げられた工作船（海上保安協会HPより）



船体引き揚げの様子（海保HPより）



巡視船との交戦による弾痕



船内で発見された武器の数々



船内は空洞になっていて、右のような小舟（密入国用）が入っていた



対空機関砲という戦争用の武器です



乗組員がつけていたと思われるバッチ

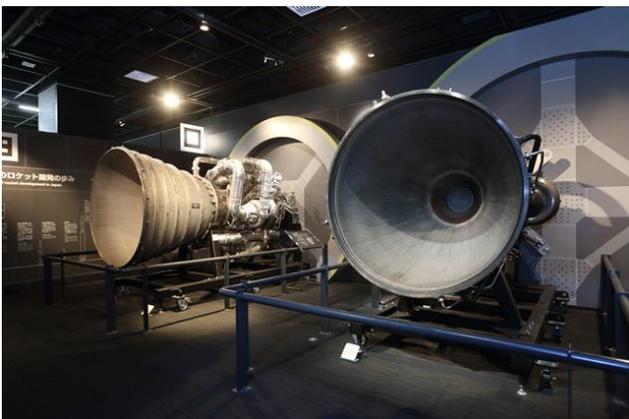
工作船事件が起きた2001年は、現在の高校一年生が生まれた年であり、本校の中高生にとっては、まったく聞いたこともない事件だろうと思います。

自分たちが生まれる前にこのような外国による日本人誘拐事件があり、それがいまだに解決していないこと。その誘拐に使用された船が眼前にあることなどで、サイエンスクラス生は非常に熱心に見学していました。

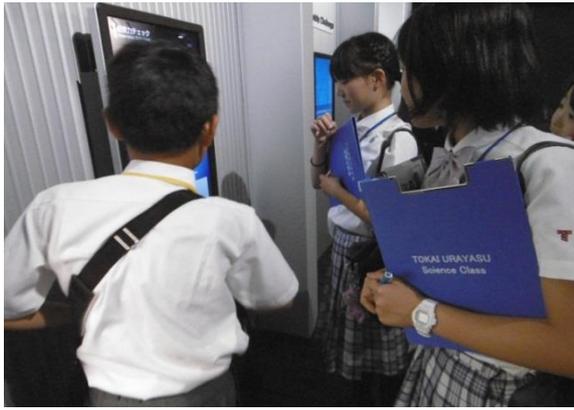
<三菱みなとみらい技術館>

日本の宇宙開発や海洋開発のための技術の第一線で活躍している企業の一つが三菱重工です。その横浜本社の1, 2階にあるのが三菱みなとみらい技術館で、ここには深海探査船のしんかい6500の分解模型やH2AロケットのエンジンであるLE-2Aエンジン（このエンジンは三菱重工が作っているので、模型ではなく本物！）が展示してあります。

なお、この日は、学校に作って頂いたサイエンスクラス名入りのクリップボードのデビューの日でした。



LE-2Aエンジン（本物！）と「しんかい6500」の分解模型（技術館HPより）



サイエンスクラス名入りのクリップボードを使って熱心に勉強しました



記念写真をパチリ

以上（文責 サイエンスクラス統括：佐藤勝美）